

産業実務演習Ⅰ

科目ナンバリング MAN-215
選択必修 2単位

岡崎 好典

1. 授業の概要(ねらい)

交通とりわけ鉄道は、昔から観光を担う重要な構成要素であり、鉄道会社は観光産業の主要な担い手である。本講義では、京王を中心とした鉄道会社の営業施策や関連事業、京王グループ会社の取り組みについて、最新の事例を紹介し、鉄道会社やグループ会社の役割と課題について学びます。さらにグループ会社に関連した各業界状況について概説し、将来の進路検討の一助とします。期中の講義では経営・管理に従事する第一線の外部講師(ゲストスピーカー)講義を3回予定しています。また授業で何回かリアクションペーパーをその場で作成し、短時間で要領よくまとめる力を身に付けます。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は、大学卒業後、60歳の定年退職まで鉄道会社に勤務していました。会社では、主に総務・法務部門および監査部門、新規事業としての有料老人ホームの業務に携わりました。これらの業務知識・経験に、中小企業診断士としての知識・経験も加えて講義を展開していきます。

2. 授業の到達目標

京王電鉄・電鉄グループなど鉄道会社の事業戦略、関連事業などについて事例を紹介し、鉄道会社の役割と課題について理解を深める。特にゲストスピーカーの講義から、各事業の目標達成には時間がかかること。成果を上げること・前年比プラスの利益を出すことのむずかしさ、そのためのコスト削減努力等を学びます。

- ①事業運営について、学生の視点から困難な事項を指摘できる。
- ②70分の長い講義を要領よく、「A4一枚」のレポートにまとめることができる。
- ③会社の仕組みや活動を学び、企業を見る眼を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

中間レポート(30%)、課題(宿題)・リアクションペーパー(30%)、期末レポート(30%)、授業参加態度(10%)の配分によって総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

会社四季報業界地図編集部 『会社四季報 業界地図2022年度版』 東洋経済新報社

参考文献

佐藤信之著 『図解入門業界研究 最新鉄道業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』第3版 秀和システム
稲葉崇志著 『「A4一枚」から始める最速の資料作成術 社内プレゼン一発OK!』 CCCメディアハウス
阿部正浩・松繁寿和編著 『キャリアのみかた 改訂版 一図でみる110のポイント』 有斐閣

5. 準備学修の内容

産業実務演習では京王電鉄以外のJR、民鉄各社の鉄道ビジネス、各業界情報を入手し、授業で紹介する京王と比較するかどうかという視点で考えること。

リアクションペーパー・中間・期末レポートの準備のため、授業到達目標から仮想問題を自ら作り、自らのオリジナル意見を含めたレポートを余裕を持ってまとめておくこと。

6. その他履修上の注意事項

ゲストスピーカー(GS)からの要望・注意(私語厳禁)もあり、授業前に教室内の着席位置を指定するので、その指示に従うこと。出席管理を厳格にします。入室時と退出時の2度、学生証をカードリーダーにタッチをすること。学生証を忘れた場合は必ず申告すること。中間レポート・期末レポート未提出、欠席が授業回数の1/3を超えた学生は成績評価の対象外です。遅刻・早退を含めた出席率が50%未満の学生は授業参加態度10%を0ポイントとして成績評価します。

最後に今期は11回目がLMSによるオンライン授業となるので、各回の授業内容を注意して読んで下さい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | イントロダクション、本講義の全体像、授業の進め方、学習の仕方、評価の詳細等。 |
| 【第2回】 | 京王グループの概要 |
| 【第3回】 | 鉄道会社の経営、京王電鉄の鉄道事業 |
| 【第4回】 | JR東日本の経営モデル |
| 【第5回】 | 京王グループ 運輸業 京王・西東京バス (GS予定) |
| 【第6回】 | 京王グループ 運輸業 京王自動車 |
| 【第7回】 | 京王グループ 運輸業 御岳登山鉄道・高尾登山電鉄 (GS予定) |
| 【第8回】 | 中間まとめと中間レポート |
| 【第9回】 | 京王グループ 流通業 京王百貨店 |
| 【第10回】 | 京王グループ 流通業 京王ストア |
| 【第11回】 | 京王グループ 流通業 京王書籍販売(LMSによるオンライン授業) |
| 【第12回】 | 京王グループ 不動産業 リビタ (GS予定) |
| 【第13回】 | 京王グループ 不動産業 京王不動産 |
| 【第14回】 | 京王グループ レジャー・サービス業 京王観光 |
| 【第15回】 | まとめと期末レポート |

※授業の計画はあくまでも当初の予定であり、外部講師の都合・授業進捗によっては変更されることがある。